

神奈川県アイスホッケー連盟

2023 年度 代議員会

議 案 書

2023 年 6 月 25 日（日）18：30 開会

ZOOM 利用によるリモート会議

第 1 号議案	各委員会の報告および今後の方針	P 1-12
第 2 号議案	2022 年度 決算報告および会計監査報告	P 13-15
第 3 号議案	2023 年度 予算（案）	P 16-17
第 4 号議案	県連役員の改選	P 18-19
第 5 号議案	県連規約の改定	P 20
資 料 1	2022 年度 事業報告	P 21-25
資 料 2	2023 年度 事業計画	P 26-28
資 料 3	登録者数推移	P 29
資 料 4	2022 年度 レフェリー派遣一覧	P 30
資 料 5	神奈川県アイスホッケー連盟 規約	P 31-37
資 料 6	2021-2022 年度 役員体制（現行）	P 38
資 料 7	第 78 回国体、その他神奈川県代表選手	P 39-43
資 料 8	懲戒処分一覧	P 44

第1号議案 各委員会の報告及び今後の方針

はじめに

昨年度は引き続きのコロナ禍にもかかわらず、感染防止を最優先としながらも県連主催全大会を予定通り実施することが出来ました。皆様のご理解ご協力に深く感謝致します。この関連もあって登録数も前年を上回り多少ながら増加傾向に転じています。今後は2000人を目指して普及・強化に努めてまいります。

また、アジアリーグもKOSÉ新横浜スケートセンターで、横浜GRITSが20試合をホームゲームとして開催しました。見るスポーツとしてのアイスホッケーの普及、連盟に200万の主管手数料を生む事業の両面からAL開催の継続・発展を支えるべく、連盟側の体制を強化して支援してまいります。

一方で懸念されることもありました。

一つは審議・懲戒案件です。特にバットエンディングによる頸部裂傷、ボーディングによる腰椎圧迫骨折の2件は重度の障害になりかねない案件で、連盟として厳正な対応を余儀なくされました。

またジュニアの試合でもGMの発生があるなど全カテゴリーに於いてFairPlay&Respectの実現は言うは易く行うは難しを実感するシーズンとなってしまいました。コンタクトスポーツであるアイスホッケーに於いて、タフがラフにならないことが非常に重要であり、ゲームに参加する全員が徹底して安心安全を心掛けることがその第一歩でもあります。選手として、指導者として、スタッフとして、皆さんの一層のご理解と積極的な対応をお願い致します。

尚、危険行為に対して連盟は厳正に処分を下しますが、目的は処分を下すことでなくFairPlay&Respectの実現にあります。単に処分対象選手、チームを非難するだけでなく、選手の復帰も含め同じアイスホッケーの仲間として安心安全を共に実現していく意識も持って頂ければ幸いです。

もう一つは強化です。

昨年度の全国大会での成績は、成年、ジュニアとも低下という残念な結果に終わりました。真の強化の実現には、年度毎に選手の力量やチームの負担に頼るだけでなく、連盟としての対策・体制の強化が必要です。

練習強化、ジュニア県内大会のあり方(試合数、20分ゲーム導入等)、スタッフへの支援、予算配分など単年のチーム作りにとどまらない強化対策と、それを支える体制の充実を具体策として実行してまいりますので、皆様のご理解、ご支援を宜しくお願い致します。

以上を目指し、連盟自体も世代交代をふくむ新陳代謝が必要と考えております。役員改選、その他議案など盛りだくさんな内容ですが、本日の代議員会は説明の場にとどまらず積極的な議論の場としたいと考えておりますので、皆様からの提案・発言を宜しくお願い致します。

1 総務委員会

2022年度の県連登録者総数は1,480名でした。※資料3【登録者数推移】参照

2020年度の登録者数はコロナ感染拡大の影響で大幅減でしたが、2021年度は「アイスホッケーをやりたい」という欲求が強まり、2022年度はさらに回復傾向となり、前年度に比べ174

名の増加となりました。

インラインチームが2年続けて活動を自粛(年度登録数0)したのもコロナ感染拡大によりインライン大会が開催できなかったことによります。2022年度は関東ブロック大会、全国大会の再開により、新規加盟チームも含め、前記増加人数の半数はインラインホッケーの選手・役員です。

1日も早く、新型コロナウイルス感染が収束し、日常の活動に復帰できることが待たれます。

すべての県連主催・主管事業では、大会により感染拡大やクラスターの発生がないよう、徹底した対策をとることとし、チーム内に感染者が発生した場合には県連に報告することを求め、接触が想定される場合の情報提供を行い、拡大防止に取り組みました。

チームから感染に関する報告は3件、県連はこれに対応し、大会・試合における感染拡大はありませんでした。

今後も、選手で2,000名を越える県連に回復していくよう努力を続けていきます。

1999年度以降、神奈川県で登録した選手・役員の情報を蓄積しています。個人情報管理する部署として守秘義務等、十分な配慮を行って処理しています。

2 医事委員会

2020年度よりつづく新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、県連が主管する各大会において、感染拡大防止への対策と対応が引き続き重要な課題となりました。皆様のご協力もあり、ほぼフルパッケージでのシーズンを遂行することができました。

2021シーズン、多くの傷病者(6件)を出した社会人神奈川選手権における今シーズンの傷病者は、頸部挫傷と腰椎椎体骨折の2件が報告されました。試合中の傷病者は減少がみられましたが、頸部挫傷は試合中のパットエンディングによる受傷。腰椎圧迫骨折は、試合終了間際の背後からのボーディングによる受傷であり、非常に悪質かつ危険なプレーによる傷害であったと言わざるを得ません。

また、今シーズン(176試合。データのなかった1試合を除く)のペナルティ件数と内訳を調べたところ、総ペナルティ数817件のうちGA-MIが4件(昨シーズン1件)、1試合中に3回ペナルティを犯したことによるOTHERが8件(昨シーズン2件)と、昨シーズン(120試合)よりも件数が多く、悪質なペナルティや同一人物によるペナルティが増加しています。

アイスホッケーはボディコンタクトが認められており、傷害の多いスポーツではありますが、「何をやってもよい」というわけではありません。毎年のお願いではありますが、スポーツマンとして最も基本的なことである“FairPlay & Respect”に立ち返り、怪我なくFairPlayで試合が遂行されることを医事委員会として強く求めます。

最後に、医事委員会では試合中に発生した傷病者の把握に努めております。日本アイスホッケー連盟への報告だけでなく、ペナルティによる傷害では、後日行われる懲戒委員会への助言等にも活用されますので、傷害が発生した場合には、別添の傷病者報告書の提出、もしくは連盟への報告をよろしくお願いいたします。

3 会計委員会

- (1) 各委員会別に予算を配分し、それに基づいた予算支出の総合管理は引き続き有効に機能しています。現在の予算枠残高は各委員会担当理事により、その用途管理が行われています。会計委員会は支出される内容が会計規則に則って正しく運用されているかを確認し、また、各チームの協力を得て収支を改善し、財務の適正管理を行っています。
- (2) 会計処理(入金と支出)の日常的な処理および会計業務の正確且つ迅速な処理ができるよう体制を強化し、各チーム残高についても、月1回以上の更新を心がけます。
- (3) 2022年度は、アジアリーグジャパンカップ横浜シリーズも通常通り開催され、横浜グリッツのホームゲームでの主管手数料収入がありました。

4 広報委員会

“正確な情報を迅速に”という基本理念のもとに、2001年10月20日に立ち上げ、2023年5月29日現在、トップページアクセス数は6,599,477件に達しています。

県内・県外問わず各大会の試合結果を迅速に掲載することを心がけています。

各チームへの周知事項をHP上で公開することにより、代表者へのe-mailでしか配信できなかった情報が、代表者以外のメンバーにも伝達が可能となり、情報をより確実に、チームに伝えることができるようになったと思っております。

しかしながら、専従職員のいない広報委員会では、自身から情報を収集することが困難です。試合結果の迅速な更新はひとえにオフィシャル当番による正確で、すばやい送信が不可欠です。情報をタイムリーにHPに反映するためにも大会運営担当者、大会参加者の深い理解と協力をお願いします。

また、専門知識を持った人材が広報委員会には不足しております。県連登録者やその知人の方で、HP運営にボランティアで協力いただける方のご協力を強く希望致します。

各チームにあつては、引き続き www.kihf.net を連盟からの重要事項の伝達手段として活用してもらおうよう、定期的な閲覧と掲示情報の確認をお願いします。

5 審議委員会・懲戒委員会

(1) 審議委員会事項

2022年11月27日に発生した審議案件は、バットエンディングによる頸部裂傷に関わるものです。

当該行為は試合中にペナルティーを科されませんでした。試合後裂傷を負ったチームから提出された怪我の程度を示す写真と一連の行為を捉えたビデオを検証したところ、レフェリーの死角で過去に前例のない悪質且つ非常に危険な反則行為がなされたことが明確であったため、審議委員会にて当該選手には5年間の出場停止、当該チームには嚴重注意という異例の処分を下しました。連盟としては Fairplay & Respect に基づく安心安全な競技環境の実現という理念に著しく反する行為として、通常懲戒基準を上回る処分が妥当と判断したためです。

処分通知後、チームからは、当該選手の負傷選手への真摯な謝罪がなされ、深い反省の姿勢を示しているとして出場停止期間の再考を求める嘆願が提出され、本件日ア連審

議委員会に経緯を報告したところ、同審議委員会から「厳しい処分は必要と考えるも出場停止期間の長さでなく、レフェリー活動などを通じて選手・チームの FairPlay & Respect 精神への理解を深めることで、安心安全の達成のきっかけとしてほしい」との見解を頂きました。

これらを踏まえ、連盟は当該チームに対し「2023シーズンから当該選手及びチームが一体となり、チームレフェリー活動を通じて正しいルールの理解と実現を率先して行う意思があるか」を確認したところ、「積極的に活動したい」との回答がありましたので、連盟としてもこうした活動を全面的にサポートし、当該選手・チームが FairPlay & Respect 精神に則ってプレーする、信頼できるよいライバルと再認識されるよう共に努力し、チーム選手他関係者の合意による出場停止処分の執行猶予も視野にいれつつ、進捗を見守りたいと考えております。

(2) 懲戒委員会事項

今シーズンについては、コロナ渦とは状況が少し変わり選手の皆さんも今まで以上に力が入った試合状況となりゲームアウトを伴う反則が多く発生したシーズンとなりました。

特に怪我を伴う事例があり、不用意なプレーが大きくなけがになり、相手選手に対し普通にチェックしたつもりが行き過ぎたチェックになってしまい、結果として大きなケガに繋がった事例もありました。

そのほかの事例についてもすべてが相手選手に悪意を持って行った事ではなく、自分をきちんとコントロールできていれば不要な反則を防ぐ事が出来たと思います。

FairPlay & Respect の言葉の意味をもう一度考えていただき選手皆さんの思いと心掛けで、スピードと迫力があり、クリーンなアイスホッケーというスポーツになっていくことが懲戒委員会としての役割です。

6 強化委員会

(1) 成年強化について

2022年度も、新型コロナウイルスの影響が懸念されましたが、感染対策を行い開催されることになりました。代表メンバーは、社会人 1/3・学生 2/3 の配分で学生に関しては神奈川県出身者が大学進学により成年の部として参加する選手が多くなってきました。それにより今までは日本体育大学が中心だったところが、色々な大学から参加するようになりました。

2022年度は、関東ブロック予選を突破しなければ本戦に出場できない状況でしたが、ブロック予選を通過することができ、本戦出場を果たしました。

本戦は、青森県で開催され、1回戦が関東ブロック予選で対戦し1点差で負けた栃木県との対戦でした。

2-2の同点でオーバータイムまでもつれましたが、惜しくも1回戦敗退になりました。

2023年度もブロック予選突破が必須になりますので、感染拡大防止対策をしっかりと行いながら、昨年度以上に強化していきます。

(2) 大学(2種)強化について

新型コロナウイルス感染拡大防止により部活動停止の大学もあり、今年度も県内事業は中止しました。

連盟所属大学チームの参加している県外事業では、第23回 アイスホッケー交流戦苦小牧大会が中止となりました。

開催された 2022 関東大学アイスホッケーリーグ戦では、

神奈川大学 デイビジョンⅠ 第13位

横浜国立大学 デイビジョンⅢ 第6位

聖マリアンナ医科大学 出場辞退

また、秩父宮杯 第69回 関東大学アイスホッケー選手権大会では、

神奈川大学 Aグループ 13位

横浜国立大学 Bグループ 8位

聖マリアンナ医科大学 出場辞退

という結果になりました。

2023 年度は大学の部活動の制限が解かれ、部員数の減少が止まり、勧誘活動などにより増えています。活動再開により、強化事業を全校でできるよう企画します。

(3) 少年(高校生)強化について

“関東ブロック予選突破、そして国体優勝！”を目標にチーム作りを進めてまいりました。10月に開催された国体県予選で優勝した武相高校を中心に選手を選抜し、さらに強化練習の中で代表選手16名を選考し、短い時間でチーム作りを行いました。

東京都東伏見で行われました関東ブロック予選は、例年通り熾烈な出場権争いとなりました。山梨県の出場辞退により予選リーグは千葉県との試合のみとなりました。大会前に練習試合を組むことができず、プレー面でのコミュニケーションに不安がありましたが千葉県に4-1で勝利しました。代表決定戦は茨城県との試合となりました。第1ピリオドは点を取られてはこちらが追い付く展開で、なかなか主導権を握ることができませんでした。第3ピリオドによやく勝ち越すことができ、4-2で勝利し7年連続となる本戦出場権を獲得しました。

本大会は青森県八戸市で行われました。1回戦は宮城県との試合となりました。前週に行われたインターハイではベスト8に入った強豪チームであるため、厳しい戦いが予想されました。終始主導権を握られる中で一時は1点差まで詰め寄る粘りを見せましたが、最後は競り勝つことができず、2-5で敗れました。

昨シーズンも関東ブロック予選を無事に通過できた事が一番の成果だと思います。結果的にここ数年は勝ち抜けることができていますが、心身共に非常にハードな試合となります。本戦は久しぶりに初戦敗退となりましたが、今年度も最低限度の目標として予選突破を目指し、本戦での上位入賞につなげたいと考えています。また、1・2年生から半数以上となる12名が選出されていたので、次回に経験を活かしてほしいと思います。

県内の各大会につきましては、慶應義塾高校と武相高校の2チームでの開催となっています。ここ数年で全国的に見ても高校カテゴリーの選手数は減っていると思われます。高校生チームとしてアイスホッケー界の発展にどのように貢献していくか、これも課題の一

つです。

(4) ジュニア強化(小・中)/一貫指導強化委員会について

強化委員会では県スポーツ協会競技力向上対策事業のジュニア強化助成金を活用し、全国大会に向けての強化練習を、感染症対策を徹底し9月より開始しました。

全国中学生大会は、関東ブロック予選を突破し、栃木県日光市で開催された本戦に出場しました。1回戦で鉦路景雲中学校と対戦し、先制するも2P中盤から疲れが出て敗退しました。

全日本少年(小学生)は、関東ブロック予選と通過できませんでした。

全日本少年(中学生)は、北海道鉦路市で開催され、予選リーグ2位通過で順位トーナメントになりました。5日間で6試合というとてもハードなスケジュールでしたが、10位で大会を終了しました。

全国大会では、1ピリオド正味20分ゲームになります。全国中学生大会でも、全日本少年でも日頃から20分ゲームに慣れていない事もあり、どうしても後半にスタミナ切れが目立ちました。

県内大会において20分ゲームを開催することは厳しいとは思いますが、全国大会に向けて強化練習の中で体カアップも目指していこうと思います。

(5) 女子強化について

女子強化委員会としては、【小学生】ジュニアレディース長野大会優勝、【中高生】JOCジュニアオリンピック大会日光杯全日本女子中高生アイスホッケー大会ベスト4、【女子】全日本女子アイスホッケー大会(B)・(C)優勝を目指して活動しております。

今年度は、ジュニアレディース長野大会は新型コロナウイルスの影響で中止になりましたが、代替試合として、栃木県選抜と東京都選抜のリーグ戦と東京都選抜との交流戦を開催することが出来ました。

日光杯は、大会直前に苫小牧選抜・鉦路選抜・札幌選抜が棄権する事態になりました。関東選抜は、1回戦を不戦勝で2回戦に兵庫県選抜と対戦し2ピリまでリードするが、惜しくも3-4で逆転負けでした。

全日本女子(B)は、ハセガワウィッチーズが出場しましたが、残念ながら最下位で(C)降格が決まりました。

全日本女子(C)は、昭和大学ブルーウィングズが出場し、見事優勝し来年度(B)への昇格を決めております。

小中学生に関しては、依然として選抜チームとしての合同練習の時間確保が厳しい状態に変わりはありません。また、競技人口の減少が見られ、他県との合同チームとしての参加も続けていかなければなりません。神奈川県内の女子選手達が他都県に移籍しなくてもホッケーを続けていきたいと思える環境を作りたいと思います。

今後とも皆様のご理解とご協力をお願い致します。

7 競技委員会

2022年度の大会は、2021年度に引き続き新型コロナウイルス禍にあり、日ア連「ガイドライン」等に基づき新型コロナウイルス感染症対策を実施し、開催致しました。

横浜銀行アイスアリーナでは、着替えもギャラリー＆ロッカーに限定して試合予定に組み入れ、新たに作成した「コロナ対策追加要項」及び「SV 新型コロナウイルス対策の手引き」に則り体温検査、サーキュレーター設置等、SV 主導且つオフィシャルに協力頂き徹底致しました。

第 70 回 神奈川県アイスホッケー選手権は、38 チームの参加(2 チームが辞退)で 2022 年 9 月 23 日に開始、2023 年 3 月 30 日迄に完了致しました。第 78 回国民体育大会神奈川県予選会は、2 年ぶりに A pool 8 チーム、B pool 30 チームが参加(2 チームが辞退)で、2022 年 10 月 2 日に開始、2022 年 12 月 24 日迄に完了致しました。

両大会共にコロナ禍による選手感染及び濃厚接触者の場合は、試合出場を見合わせて頂けるよう徹底致しました。そのため、試合辞退によるペナルティは前年度に続き無くなりました。但し、各部入れ替えは、2022 年度より実施と致しました。結果、182 試合中 4 試合が棄権にて未実施となりましたが、新型コロナウイルス感染によるクラスターの発生は防ぐことができました。皆様のご尽力の賜物だと思います。ありがとうございました。

2021 年度、2022 年度合計 8 名の傷病者を出した社会人神奈川選手権ですが、うち 5 名が骨折、2 名が頭頸部外傷となりました。前回の代議員会や監督会議で、大会関係者全員への「FairPlay & Respect」や安全安心に大会が運営されるようご協力頂きたいという連盟の基本方針は、残念ながら全く担保されませんでした。対戦チームへの Respect を欠く暴言を吐く選手や、相手が重傷を負うリスクを十分理解せず、結果として過剰なチェックを行う選手、試合終了直前にパックと関係ないところでのチェック、パックと関係ないエリアでの喉元を狙った故意のバッドエンディング、キッキング等、相手選手の選手生命を奪いかねない非常に危険な行為も散見されました。

正当なチェックだから怪我をさせるのはやむを得ないということではなく、できる限り安全に競技としてのアイスホッケーを競い合い、楽しんで頂くために、競技委員会としても選手・スタッフ・オフィシャル全ての関係者への「FairPlay & Respect」及び危険回避の技量習得のため、医事委員会・レフェリー委員会協力のもと「KIHF 安全講習会」を企画し、37 チームの代表者にご出席頂きました。積極的なご参加ありがとうございました。今後も是非公式戦に関わる全員への「FairPlay & Respect」の徹底にご協力をお願い致します。

2023 年度は第 70 回選手権結果に基づきリーグ分けを実施致します。アンケートを取り、上記安全講習会にて意見交換を実施し、競技委員会を中心に神奈川選手権 4 部及び 5 部リーグについて、ノーチェックルール適用を検討しております。本ルール適用確定後、改めてご報告させていただきます。

尚、2023 年度も選手権・国体県予選とも横浜銀行アイスアリーナをメインの会場とし、KOSÉ 新横浜スケートセンターで確保した枠を各部にできるだけ公平に割り当てる試合日程とする予定です。

横浜銀行アイスアリーナのスコアボードは、試合ごとにオフィシャル当番チームが操作機器の設置・片付けを行う必要があります。課題は引き続き「大切に、慎重に」使用して頂くことです。特に操作盤の電源アダプタや接続部のケーブル類は複数回交換しております。接続部のケーブル破断は、慎重に扱えば起こらないことです。オフィシャル当番チームにおかれては、十分注意して取り扱いをお願い致します。

第 71 回神奈川県アイスホッケー選手権及び第 79 回国民体育大会神奈川県予選会は、

2023年9月初旬から開始し、2023年度内に終了する予定で計画しています。尚、両大会共に理事によるスーパーバイザーはなくなり、幹事チームのみで全試合のSVをご担当頂きますのでご承知おきください。

以下、最重要事項です。4点徹底頂きますのでよろしくお願い致します。

- ① 神奈川選手権 4部及び5部リーグについて、危険なチェックによる骨折者多発と個人加入のスポーツ保険だけで解決が難しい事象が発生したことを鑑み、ノーチェックルール適用を検討しております。適用確定後は、ルール遵守をお願い致します。
- ② チーム及び選手の登録費、会参加費入金の期限厳守の徹底をお願い致します。未入金の場合は大会参加を認めませんので、ご了承頂きたくよろしくお願い致します。
- ③ 各スケートリンクは、飲酒、酒類の持ち込みは禁止です。また、ゴミ類は、各自で持ち帰らなければいけません。各チーム内で再周知徹底願います。
- ④ 再度のお願いとなりますが、公式戦では、「FairPlay & Respect」を徹底願います。関係する全ての方々を Respect してください。暴言、過剰な暴力、過剰なボディコンタクトについては、厳正に対処致しますので、各チーム内で周知徹底願います。

8. 普及委員会

(1) 小中学生・女子の普及について

普及委員会では、コロナ禍でも常時 Eメールと LINE グループで連絡を取り合い、原則理事会開催前週の毎月第一水曜日に、ジュニア強化練習や各種大会の情報展開を含め、ジュニアチーム・女子チーム代表者に出席願ひ、普及委員会を ZOOM や LINE ミーティングで欠かさず開催してきました。

昨年度は各チームのご理解ご協力の下、春季大会を小中学生・女子チーム共に相模原市銀河アリーナで開催し、小学生低学年の U9 クロスアイス横浜銀行アイスアリーナで複数回に渡り開催しました。日ア連育成委員会が提唱する「ハウスリーグ」のように選手をレベル分けし得点差が大差となるゲームを廃し、「みんなで参加」「とにかく楽しむ」「成長に繋げる・仲間と繋がる」を目標に、クロスアイスによるパックタッチやシュート数を増やす事が目的です。これを出発点とし、低学年からの選手獲得と選手の減少を防止し、ジュニア強化へと繋がりたいと考えております。

秋季大会は、女子は全日本女子選手権大会出場権を賭け、横浜銀行アイスアリーナでのトーナメント戦を開催しました。小学生低学年の U9 クロスアイスは人数制限のため開催を見送り、小学生高学年、中学生は銀河アリーナで2日間のリーグ戦を開催し、試合数を増やす努力をしました。しかし、大量得点差のゲームが生じ、今後の課題となりました。

日本アイスホッケー連盟より、毎年開催を打診されてきた KOSÉ 新横浜スケートセンターでの小学生低学年全国大会も3年越しに無事開催する事ができました。大会開催にあたりご協力頂いたジュニアチーム保護者の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。この大会では AI カメラを氷上センタースポットに配し、録画配信を試みました。

今年度春季大会は、小学生高学年、中学生、女子ともに相模原市銀河アリーナで開催しました。中学生では、人数の少ないチームに人数の多いチームから選手レンタルし、疲労による大量得点差が生じないよう工夫しました。ご理解ご協力頂いた選手と保護者の皆

様に感謝申し上げます。

また、横浜 GRITS のコーチ・選手による KOSÉ 新横浜スケートセンターでの「アイスホッケー体験会」や横浜銀行アイスアリーナのサブリンクを活用した U9 の少人数を対象としたスクールも始まりました。

今後も横浜 GRITS や神奈川県スポーツ協会、横浜市スポーツ協会と協同し、ジュニアチームの活動や県内大会開催を様々な媒体を通じ紹介し、選手の開発と育成に寄与して参りたいと思います。

(2) インラインホッケーの普及について

神奈川県には男子 2 チーム女子 3 チームのインラインチームが登録されています。

2022 年度は第 25 回全日本インラインホッケー選手権が開催されました。これに先立ち 6 月に 第 25 回関東インラインホッケー選手権が行われ男子 B プールに 2 チーム、女子 L プールに 3 チームが出場し好成績をおさめ、続く 7 月の全日本選手権に出場しました。この全日本で男子 B プールでは優勝、準優勝、女子 L プールでは優勝、準優勝、3 位と上位を独占する好成績をおさめました。県内に公式戦のできるインラインリンクはなく具体的な普及活動はできませんが、2023 年度の大会でも再び活躍されることを願っております。

(3) オールドタイマーの普及について

高齢者リスクからいたしかたないことですがコロナ禍により 3 年間活動がありませんでした。その間も競技者の皆さんはひとつずつ年をとっており、いずれオールドタイマーカテゴリーでのプレーを希望する方も増えてきていると思います。生涯スポーツとしてアイスホッケーをプレーできる環境が定着するように 2023 年度より普及活動を再開していきます。2023 年度は参加希望チームによる交流戦、2024 年度より日ア連登録をふまえた公式戦となるよう計画していきます。

9 レフェリー委員会

2022 年度については、後半から新型コロナウイルス感染対策の緩和が始まり、全国大会や関東圏で大会が行われ、いつものシーズンに戻りました。

神奈川県内における大会についても、シーズン中に終わることができました。レフェリー活動にご協力いただき、ありがとうございました。

今シーズンの社会人神奈川選手権については、大変怪我の多いシーズンになってしまいました。通常のプレー中に発生した事例も、反則を伴った事例もあり、ボディコンタクトを伴うスポーツのため、様々な状況において「絶対に怪我が起こらない」とは限りません。個人個人の考え方で全く違ったスポーツに変わってしまいます。

来シーズン以降は、この様な事故が起こらない安心安全な大会運営について競技委員会とも話し合い、大会のあり方を変えて行くことも検討していく予定です。

2022 年度の公認レフェリー登録は 23 名で、そのうち実際に稼働できている人数は半数でした。この先県内の大会や関東ブロック大会、全国大会などの大会が以前の様に戻った場合、とても充足する人数ではありません。

各チームから登録レフェリーを登録していただきオフィシャルの時にオンアイス対応をお願いしていますが、今後は若干方針を変更して、スキル向上とレフェリー対応人員を増やすためにエン

トリー方式に変更する予定です。

また、チーム登録レフェリーが公認レフェリーとともにスキル向上できるように、レフェリー委員会としても今後も継続してレフェリークリニックなどの活動を行っていきます。

毎年のこととなりますが、レフェリー委員会としても公認レフェリー、チーム登録レフェリーを問わずに、怪我や事故を未然に防ぐようにゲームコントロールするスキルの向上を目指しますが、「FairPlay & Respect」を前提に、チームや選手個人としても怪我をしない、怪我をさせない「安全で楽しいスポーツ」であることをより心掛けてほしいと思います。

最後に練習試合におけるレフェリー派遣についてですが、試合当日までの日数に余裕をもって連絡いただくと調整時間に余裕が持てて助かります。

大会や練習試合派遣における謝金についても、燃料費の値上げなどに伴い、すべてのカテゴリーにおいて

試合時間が 24:00 までの場合： レフェリー1 人/4000 円、ラインズパーソン 1 人/3000 円

試合時間が 24:00 を超える場合： レフェリー1 人/5000 円、ラインズパーソン 1 人/4000 円

とさせていただきます。

神奈川県レフェリー委員会において 4 人制講習を全員ではありませんが受講した者も居ますので、練習試合などでご要望があれば、派遣依頼の際に伝えて頂ければ対応致します。

今後もレフェリー活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

選手の着用するユニフォームの「ズレ防止ストラップ」についてですが、2023 年 12 月 1 日より小学生を除く各カテゴリーの全国大会本戦と、それに伴うブロック大会、日ア連が主催する大会においてはストラップを着用して参加する事になります。

そのほかの各都道府県の大会にチーム単独で参加される場合は、主管する各都道府県に確認をしてください。

神奈川県内大会については、代議委員会以降で小学生を除く各カテゴリーの競技委員会と、全国大会や県外大会に参加しないチームも含めた各チームと各競技委員会が調整をし日ア連の定める最終猶予期間 2024 年 8 月 1 日までに県内ではどのようにするかを決めていただく事になると思います。

ヘルメットの耳当てについても、本来ヘルメットに付いている部品です。取り外して試合に参加することは出来ません。すでにジュニアの大会では、取り外しての参加は認めない事になっています。

ジュニア以外の各カテゴリーについても試合に参加する場合は必ず取り付けて参加することをお願いします。

10 日ア連事業について

(1) アジアリーグアイスホッケーについて

2022-2023 シーズンは、開幕当初は座席の間引き等、通常通りとはいきませんでした。が、予定されていた全カードを実施することが出来ました。

横浜 GRITS ホームゲームとしても、KOSÉ 新横浜スケートセンターで 20 試合が開催されました。

最終戦では、指定席のみですが満員になり、横浜でのホッケー熱を感じられる大会にな

りました。

2023 シーズンも、横浜グリッツと連携しながら 1 試合でも多く誘致・集客できる体制で臨もうと思います。

(2) 第 56 回全日本アイスホッケー選手権大会 (B)

2019 年度から「日本アイスホッケー連盟会長杯」は「全日本アイスホッケー選手権大会 (B)」に大会名が変更となっております。

2023 年 2 月に岩手県盛岡市にて開催され、本県からはケッターズが参加しました。

(3) J-ICE について

第 9 回 J-ICE プレーオフが、3 月 17 日 (金)～19 日 (日) に 4 年ぶりに岡山県倉敷市にて開催されました。EAST DIVISION からの参加はありませんでした。

第 4 号議案 役員選任及び新年度役員体制について

I 役員選任事務局報告

神奈川県アイスホッケー連盟規約(以下「規約」という)及び同施行細則に基づき、「役員選任」について報告いたします。

県連の「役員選任」については、規約及び施行細則で次のように規定されています。

規約第 8 条(役員任期)

1. この団体の役員任期は 2 年とし、再任を妨げない。

規約第 5 条(役員)

3. 理事 総数を 20 名以内とし(うち会計理事 2 名含む)、会長指名理事 8 名以上、ブロック選出理事 10 名とする。

ブロック別選出理事は下記のとおりとする

1・7 種	7 名	(一般・女子)
2 種	1 名	(大学)
3 種	1 名	(高等学校、高校生チーム)
4、5、6 種	1 名	(小、中学生)
計	10 名	

規約第 6 条(役員選任)

2. 理事および監事は代議員会で選任し、理事長および副理事長は理事の互選により定める。

施行細則第 6 条(役員選任)

理事及び監事の選任方法

[ブロック選出理事]

- ① 理事長は代議員会に先立って、ブロック別会議を招集する。
- ② 理事への立候補者は連盟登録者に限る。
- ③ 立候補者は改選期のブロック別会議の 10 日前までに事務局にその旨を届け出なければならない。
- ④ 事務局は届け出のあった立候補者名を、ブロック会議までに当該ブロック所属の各チームへ通達するものとする。
- ⑤ ブロック別会議では理事候補を選出し、代議員会で承認される。
- ⑥ ブロック別会議での選出方法は所属各チーム代議員の合意による。

[会長指名理事]

- ・ 本連盟運営の円滑化を目的として、会長は連盟登録者または有識者などから 8 名以上 10 名以内で理事候補を指名する。
- ・ 会長の指名する理事候補は代議員会で承認される。

II 役員選任事務局体制

役員選任事務局の体制

事務局長	下山 浩二
事務局	岡野 宏
	神山 賢
世話役	伊藤 一

Ⅲ 公報及び立候補受付

役員選任事務局では、選挙公報を県連 HP に UP してお知らせしました。

立候補届出期間を 2023 年 4 月 30 日(日)～5 月 7 日(日)午後 5 時までとし、受付を閉め切ったところ、16 名の立候補届を有効とし、受理しました。

定数 20 名を超えなかったため、理事会と協議し、5 月 16 日に予定していました”ブロック会議”を中止し、HP に UP して各チームに通知しました。

立候補者は県連 HP に氏名・抱負を含めて UP しました。

Ⅳ ブロック選出及び会長指名理事候補の決定

ブロック選出理事候補の立候補届出結果を受けて、理事会で検討し、会長指名理事候補を含めた新年度役員体制を以下の通りとし、代議員会の議に付します。

番号	氏名(50音順)	所属
1	石山 卓男	YOKOHAMA BAY JAZZ
2	伊藤 一	県連登記会員
3	内田 貴典	富士通RED BULLETS
4	江守 永	昭和大学ブルーウインズ
5	鍵和田 和明	常盤台ユベントス
6	菊地 拓海	武相高校
7	佐々木 暁	県連レフェリー
8	佐々木 基喜	県連レフェリー
9	天明 太郎	チーム ハセガワ A
10	中島 透	県連レフェリー
11	西村 三雄	BREZZAヨコハマ
12	長谷川 宜彦	ハセガワウイッチーズ
13	畑中 和幸	スーパー・ケッターズ
14	三浦 浩幸	県連登記会員
15	水原 健司	チーム ハセガワ A
16	宮本 淳平	スーパー・ケッターズ
17	山田 瑛史	県連強化委員
18	山本 秀彦	S Blitz

Ⅴ 会長・副会長・監事について

県連会長につきましては引き続き藤木会長に留任していただくことでお願いをいたしました。

県連監事につきましては飯田 松男 氏、石塚 亮平 氏(麻布総合会計事務所代表、公認会計士・税理士)を留任とし、提案します。

新年度理事の任務分担は代議員会終了後の理事会で検討をして参ります。決定次第 HP に UP するなどお知らせしていきます。

Ⅵ 日本アイスホッケー連盟評議委員について

日ア連評議委員については、関東ブロックから 2 名を推薦することに選出基準が変更されました。関東地区アイスホッケー連絡協議会で審議し、神奈川県から宮本淳平、ほか 1 名を群馬県から選出し、日ア連に推薦することとなりました。

第 5 号議案 県連規約の改定

第 5 号議案

県連規約の改定について

1. 規約 第 7 章 （専門委員会）

第 17 条 1. この団体の任務遂行のために必要あるときは、理事会の議決に基づき専門委員会をおくことができる。

【改定案】

施行規則 第 7 章 第 17 条（専門委員会）

連盟の運営にあたり、以下のように専門委員会を設置する。

◇総務委員会

・総務委員会 ・会計委員会 ・広報委員会
・審議委員会 ・懲戒委員会 ・医事委員会

【改定理由】

IIHF ルールに基づき、ゲーム・ミスコンダクト・ペナルティー、マッチ・ペナルティーが発生した場合、速やかに懲戒委員会を開催し、日ア連通達に基づく処分を決定し、対象者・チームに通知します。

このシステムは問題なく稼働し、その任務を果たしています。

日ア連審議委員会では GM、MP が発生し、懲戒委員会により処分を行った場合、その資料を含めて報告書の提出、全国の発生状況をまとめて発表しています。

県連として「懲戒委員会」の位置づけを規約上明記する必要があると判断し、提案を行うものです。

2022 年度事業報告

(自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日)

【理事会】

1	事業名	2021 年度 第 11 回理事会		
	期 日	2022/4/13	会 場	WEB 会議による開催
2	事業名	2021 年度 第 12 回理事会		
	期 日	2022/5/11	会 場	WEB 会議による開催
3	事業名	2021 年度 第 13 回理事会		
	期 日	2022/6/8	会 場	WEB 会議による開催
4	事業名	第 1 回関東地区アイスホッケー連絡協議会		
	期 日	2022②/6/25	会 場	埼玉県スポーツ総合センター
5	事業名	2022 年度代議員会		
	期 日	2022/6/26	会 場	HP から議案書配布、WEB 会議による開催
6	事業名	2022 年度 第 1 回理事会		
	期 日	2022/7/13	会 場	WEB 会議による開催
7	事業名	2022 年度 第 2 回理事会		
	期 日	2022/8/10	会 場	WEB 会議による開催
8	事業名	2022 年度 第 3 回理事会		
	期 日	2022/9/14	会 場	WEB 会議による開催
9	事業名	日ア連定時評議員会		
	期 日	2022/9/24	会 場	日本青年館
10	事業名	2022 年度 第 4 回理事会		
	期 日	2022/10/11	会 場	WEB 会議による開催
11	事業名	第 2 回関東地区アイスホッケー連絡協議会		
	期 日	2022/10/25	会 場	埼玉県スポーツ総合センター
12	事業名	2022 年度 第 5 回理事会		
	期 日	2022/11/9	会 場	WEB 会議による開催
13	事業名	2022 年度 第 6 回理事会		
	期 日	2022/12/14	会 場	WEB 会議による開催
14	事業名	2022 年度 第 7 回理事会		
	期 日	2023/1/11	会 場	WEB 会議による開催
15	事業名	2022 年度 第 8 回理事会		
	期 日	2023/2/8	会 場	WEB 会議による開催
16	事業名	2022 年度 第 9 回理事会		
	期 日	2023/3/8	会 場	WEB 会議による開催

【競技委員会関係】

1	事業名	第 70 回県選手権 監督会議		
	期 日	2022/8/25	会 場	WEB 会議による開催
2	事業名	リスペクト憲章遵守依頼		
	期 日	2022/9/24	会 場	メール送信
3	事業名	第 70 回神奈川県アイスホッケー選手権大会(成年)		
	期 日	2022/9/23~2023/3/30	会 場	横浜銀行アイスアリーナ・KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	1 部リーグ優勝:EAGLES 2 部リーグ優勝:ハマクラブ A 3 部リーグ優勝:常盤台ユベントス 4 部リーグ優勝:Big Buzz 5 部リーグ優勝:日産自動車ピストンズ Fairplay 賞:横浜ダイヤモンドズ		
4	事業名	第 78 回国体神奈川県予選会		
	期 日	2022/10/23~2022/12/24	会 場	横浜銀行アイスアリーナ・KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	A pool 優勝:ケッターズ 準優勝:チーム ハセガワ B B pool 優勝:EAGLES 準優勝:箱根クラブ		

【普及委員会(小・中・女子)】

1	事業名	第 32 回春季神奈川県小中学生・女子アイスホッケー選手権大会		
	期 日	2022/4/23~24	会 場	相模原市銀河アリーナ
	内 容	小学生高学年の部(5 チーム) 優勝:新横浜ジュニア A、準優勝:ヨコハマスターズ 中学生の部(4 チーム) 優勝:新横浜ジュニア、準優勝:アイリンズ 女子の部(4 チーム) 優勝:昭和大学ブルーウィンズ、準優勝:ハセガワウィッチーズ		
2	事業名	第 34 回横浜市長杯 兼 第 42 回全日本女子アイスホッケー選手権大会 神奈川県予選会		
	期 日	2022/10/1~29	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	優勝:昭和大学ブルーウィンズ、準優勝:ハセガワウィッチーズ		
3	事業名	第 34 回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会		
	期 日	2021/10/22~23	会 場	相模原市銀河アリーナ
	内 容	小学生高学年の部(5 チーム) 優勝:新横浜ジュニア、準優勝:ヨコハマスターズ 中学生の部(4 チーム) 優勝:新横浜ジュニア、準優勝:アイリンズ		
4	事業名	第 34 回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会(低学年の部)		
	期 日		会 場	
	内 容	U9 クロスアイス 新型コロナウイルス感染防止ため、大会開催を中止		
5	事業名	第 11 回 全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2023)関東ブロック予選		
	期 日	2023/2/4	会 場	群馬県前橋市
	内 容	関東ブロック予選敗退		
6	事業名	第 11 回 全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2023)		
	期 日	2023/3/18~19	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	優勝:北信越東海 A、準優勝:栃木県選抜、3 位:東京都選抜		

【普及委員会(インライン)】

1	事業名	第 25 回関東インラインホッケー選手権大会(A・B・L pool)		
	期 日	2022/6/4~6/5	会 場	日光市 細尾ドーム
	内 容	男子 B 優勝:maffick 準優勝:STIGA 女子 L 優勝:Team SONIC 準優勝:Peanuts 3 位:WeLLs それぞれ全日本選手権出場権獲得		

2	事業名	第 25 回全日本インラインホッケー選手権大会 (B プール・L プール)		
	期 日	2022/7/16~7/17	会 場	兵庫県 ピュアスポーツ柏原
	内 容	男子 B 優勝:STIGA 準優勝: maffick 女子 L 優勝:Team SONIC 準優勝:peanuts 3位:Wells		

【普及委員会(オールドタイマー)】

1	事業名	交流戦		
	期 日		会 場	
	内 容	新型コロナウイルス感染防止ため、大会開催を断念		

【強化委員会(小中学生)】

1	事業名	JTB杯第 25 回全国選抜小学生アイスホッケーサマー大会		
	期 日	2022/7	会 場	北海道苫小牧市
	内 容	新型コロナウイルスの影響で開催中止		
2	事業名	令和 4 年度関東中学校アイスホッケー大会兼第 43 回全国中学校アイスホッケー競技会関東代表決定戦		
	期 日	2022/11/26~27	会 場	栃木県日光市
	内 容	本戦出場権獲得		
3	事業名	第 43 回全国中学校体育大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2023/1/28~30	会 場	栃木県日光市
	内 容	1 回戦敗退		
4	事業名	第 11 回全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2022)関東予選		
	期 日	2023/2/4	会 場	群馬県前橋市
	内 容	開催地枠で本戦出場		
5	事業名	第 18 回風越カップ全日本少年アイスホッケー大会(小学生)関東予選		
	期 日	2023/1/28~29	会 場	山梨県甲府市
	内 容	予選敗退		
6	事業名	第 11 回全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2022)		
	期 日	2023/3/18~19	会 場	神奈川県横浜市
	内 容			
7	事業名	第 17 回全日本少年アイスホッケー大会(中学生)		
	期 日	2023/3/25~29	会 場	北海道釧路市
	内 容			

【強化委員会(女子)】

1	事業名	JOC ジュニアオリンピックカップ大会第 17 日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会		
	期 日	2022/11/19~20	会 場	栃木県日光市
	内 容			
2	事業名	第 42 全日本女子アイスホッケー選手権大会 C グループ 関東ブロック予選会		
	期 日	2023/1/21~29	会 場	東伏見アイスアリーナ
	内 容	昭和大学ブルーウィングズが出場権獲得		

3	事業名	ジュニアレディースアイスホッケー長野大会(小学生女子)		
	期 日		会 場	長野県軽井沢
	内 容			
4	事業名	第 42 回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)(C)		
	期 日	2023/3/16~19	会 場	北海道帯広市、札幌市
	内 容	(B)ハセガワウィッチーズ敗退、(C)昭和大学ブルーウィンズ優勝		

【強化委員会(高校)】

1	事業名	第 70 回県選手権(高校の部)兼全国高校選抜大会代表選考会		
	期 日	2022/6/2	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	慶應義塾 1-2(GWS)武相 武相は全国選抜大会出場権を獲得		
2	事業名	特別国民体育大会神奈川県予選会(少年の部)		
	期 日	2022/10/1	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	武相 5-3 慶應義塾		
3	事業名	特別国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会関東ブロック予選		
	期 日	2022/12/16~18	会 場	東京都西東京市・東大和市
	内 容	神奈川県 4-1 千葉県、神奈川県 4-2 茨城県 ※本戦出場権獲得		
4	事業名	特別国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2023/2/1~5	会 場	青森県八戸市
	内 容	神奈川県 2-5 宮城県 ※1回戦敗退		

【強化委員会(大学)】

1	事業名	大学強化試合		
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
2	事業名	秩父宮杯 第 69 回 関東大学アイスホッケー選手権大会 68 回 関東大学アイスホッケー選手権大会		
	期 日	2022/4/9~6/187~6/20	会 場	ダイドードリンコアイスアリーナ
	内 容	神奈川大学 Aグループ 13 位 横浜国立大学 Bグループ 8 位		
3	事業名	2022 年度 関東大学アイスホッケーリーグ戦		
	期 日	2022/9/3~12/4	会 場	ダイドードリンコアイスアリーナ
	内 容	神奈川大学 Div. I 第 13 位 横浜国立大学 Div. III 第 6 位 聖マリアンナ医科大学 出場辞退		
4	事業名	第 95 回 日本学生氷上競技選手権大会		
	期 日	2022/12/20~12/25	会 場	横浜市、東京都
	内 容	神奈川大学 1 回戦敗退		
5	事業名	第 23 回 大学アイスホッケー交流戦苦小牧大会 22 回 大学アイスホッケー交流戦苦小牧大会		
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
6	事業名	第 65 回 東日本医科学生総合体育大会		
	期 日	2022/12/25~12/30	会 場	札幌市、セキスイハイム真駒内アイスアリーナ
	内 容	聖マリアンナ医科大学 Cグループ 3 位		

【強化委員会(成年)】

1	事業名	特別国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会関東ブロック予選		
	期 日	2022/12/9～11	会 場	東京都西東京市・東大和市
	内 容	国体本戦出場決定		
2	事業名	特別国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2023/1/31～2/5	会 場	青森県八戸市
	内 容	一回戦敗退		

【レフェリー委員会】

1	事業名	日ア連全国レフェリー委員長会議		
	期 日	2022/9/21	会 場	ZOOMによるリモート会議
	内 容	2022-23 シーズンIIHFルール変更に伴う説明と対応について		
2	事業名	神奈川レフェリークリニック		
	期 日	2022/9/11・16	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	公認・チーム登録レフェリー対象の新ルール説明会		
3	事業名	日ア連関東ブロックレフェリークリニック		
	期 日	開催なし	会 場	
	内 容			
4	事業名	日ア連 4 人制レフェリー講習会		
	期 日	2022/10/15	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	試合におけるレフェリー・ラインズパーソンの役割、動作の確認など		

【日ア連事業委員会・アジアリーグ】

1	事業名	アジアリーグジャパンカップ		
	期 日	2022/9/10～2023/3/5	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	横浜 GRITS ホームゲーム 20 試合		
2	事業名	U14/16 東京・関東ブロックキャンプ		
	期 日	2022/11/5～6	会 場	相模原銀河アリーナ
	内 容	1 日開催で、それぞれ 2 グループにて開催。		
3	事業名	U16 女子 東京・関東ブロックキャンプ		
	期 日	2022/7/9	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	1 日開催		

2023 年度事業計画

(自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)

【理事会】

1	事業名	2023 年度理事会		
	期 日	各月第 2 水曜開催	会 場	WEB 理事会
	内 容	代議員会決定に基づく県連運営及び対処		
2	事業名	2023 年度 代議員会		
	期 日	2023/6/25	会 場	WEB 代議員会
	内 容	2022 年度事業の総括及び 2023 年度事業方針の決定		
3	事業名	関東地区アイスホッケー連絡協議会: 年 3 回程度開催		
	期 日	2023/5/13	会 場	幹事は 埼玉県連 が担当
4	事業名	2023 年度日ア連定時評議員会		
	期 日	未定	会 場	未定

【競技委員会関係】

1	事業名	安全講習会		
	期 日	2023/6/4	会 場	ZOOM によるリモート会議
2	事業名	第 71 県選手権 幹事チーム引継ぎ		
	期 日	2023/7	会 場	ZOOM によるリモート会議
3	事業名	第 71 県選手権・第 79 国体県予選会 監督会議		
	期 日	2023/8	会 場	ZOOM によるリモート会議
4	事業名	第 71 神奈川県アイスホッケー選手権大会(成年)		
	期 日	2023/9~2024/3	会 場	横浜銀行アイスアリーナ・KOSÉ 新横浜スケートセンター
5	事業名	第 79 回国体県予選会 B pool 組合せ抽選会		
	期 日	2023/8	会 場	ZOOM によるリモート会議
6	事業名	第 79 回国体神奈川県予選会(成年の部)		
	期 日	2023/9~12	会 場	横浜銀行アイスアリーナ・KOSÉ 新横浜スケートセンター

【普及委員会(小・中・女子)】

1	事業名	第 33 回春季神奈川県小中学生・女子アイスホッケー選手権大会		
	期 日	2022/4/22~23	会 場	相模原市銀河アリーナ
	内 容	小学生高学年の部(5 チーム) 優勝: 新横浜ジュニアA 準優勝: YOKOHAMA STARS 中学生の部(4 チーム) 優勝: アイリンズ 準優勝: YOKOHAMA STARS		
2	事業名	第 33 回春季神奈川県小中学生・女子アイスホッケー選手権大会(女子の部)		
	期 日	2022/4/22~23	会 場	相模原市銀河アリーナ
	内 容	優勝: 昭和大学ブルーウインズ 準優勝: ハセガワウィッチーズ		
3	事業名	JDHL ハウスリーグおよびアイスホッケー体験会		
	期 日	5~8 月 毎月 1 回	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	U9 クロスアイスゲーム		
4	事業名	第 35 回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会		
	期 日	未定	会 場	相模原市銀河アリーナ(予定)
5	事業名	第 35 回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会(低学年の部)		
	期 日	未定	会 場	相模原市銀河アリーナ(予定)

6	事業名	第 35 回横浜市長杯兼第 43 回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)神奈川県予選会		
	期 日	未定	会 場	横浜銀行アイスアリーナ

【普及委員会(インライン)】

1	事業名	第 26 回関東インラインホッケー選手権大会(A・B・L pool)		
	期 日	2023/6/3~4	会 場	細尾ドームリンク
	内 容	男子 Bpool 優勝:maffick、準優勝:STIGA 女子 Lpool 優勝:Team SONIC、準優勝:Ginza Genkai Peanuts、3 位:WeLLs 神奈川県連登録チームが上位を独占、全日本選手権出場権を獲得しました。		
2	事業名	第 26 回 JIHF インラインホッケー全日本選手権大会(B・L プール)		
	期 日	2023/7/15~17	会 場	兵庫県丹波市柏原町/ピュアスポーツ柏原(かいばら)

【普及委員会(オールド)】

1	事業名	交流戦		
	期 日		会 場	ハマ銀アリーナ
	内 容			

【強化委員会(小中学生)】

1	事業名	JTB杯第 26 回全国選抜小学生アイスホッケーサマー大会		
	期 日		会 場	
2	事業名	令和 5 年度関東中学校アイスホッケー大会兼第 44 回全国中学校アイスホッケー競技会関東代表決定戦		
	期 日	未定	会 場	未定
3	事業名	第 44 回全国中学校アイスホッケー競技会		
	期 日	未定	会 場	
4	事業名	第 11 回全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2023)関東予選		
	期 日	未定	会 場	
5	事業名	第 18 回風越カップ全日本少年アイスホッケー大会(小学生)関東予選		
	期 日	未定	会 場	未定
6	事業名	第 11 回全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2023)		
	期 日	未定	会 場	未定
7	事業名	第 17 回全日本少年アイスホッケー大会(中学生)		
	期 日	未定	会 場	北海道釧路市
8	事業名	第 18 回風越カップ全日本少年アイスホッケー大会(小学生)		
	期 日	未定	会 場	長野県軽井沢町

【強化委員会(女子)】

1	事業名	第 43 回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)関東ブロック予選会		
	期 日	未定	会 場	未定
2	事業名	JOC ジュニアオリンピックカップ大会 第 18 回 日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会		
	期 日	未定	会 場	栃木県日光市
3	事業名	第 43 回 全日本女子アイスホッケー選手権(B)		
	期 日	未定	会 場	未定
4	事業名	ジュニアレディーズアイスホッケー長野大会		
	期 日	未定	会 場	長野県軽井沢市

【強化委員会(高校)】

1	事業名	第 71 回県選手権(高校の部)兼全国高校選抜大会県代表選考会		
	期 日	2023/6/4	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
2	事業名	第 78 回国民体育大会神奈川県予選会(少年の部)		
	期 日	2023/9 月または 10 月	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
3	事業名	第 78 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会関東ブロック予選		
	期 日	2023/12/8~10	会 場	群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク
4	事業名	第 78 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2024/1 月下旬	会 場	北海道苫小牧市

【強化委員会(大学)】

1	事業名	大学強化試合		
	期 日	未定	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
2	事業名	秩父宮杯第 70 回 関東大学アイスホッケー選手権大会		
	期 日	2023/4/15~6/25	会 場	ダイドードリンコアイスアリーナ
	内 容	神奈川大学 A グループ 位 横浜国立大学 B グループ 位		
3	事業名	2023 年度関東大学アイスホッケーリーグ戦		
	期 日	未定	会 場	ダイドードリンコアイスアリーナ
4	事業名	第 24 回大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会		
	期 日	未定	会 場	未定(苫小牧市)
5	事業名	第 66 回東日本医科学生総合体育大会 アイスホッケー競技		
	期 日	未定	会 場	山梨県
6	事業名	第 96 回日本学生氷上競技選手権大会(インカレ)		
	期 日	未定	会 場	

【強化委員会(成年)】

1	事業名	第 79 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会関東ブロック予選		
	期 日	未定	会 場	未定
2	事業名	第 79 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2024/1 月下旬	会 場	

【レフェリー委員会】

1	事業名	神奈川レフェリークリニック		
	期 日	未定	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
2	事業名	日ア連全国レフェリー委員長会議		
	期 日	未定	会 場	
3	事業名	日ア連関東ブロックレフェリークリニック		
	期 日	未定	会 場	

【日ア連事業委員会・アジアリーグ】

1	事業名	アジアリーグ 横浜 GRITS ホームゲーム		
	期 日	未定	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
2	事業名	U14/16 東京・関東ブロックキャンプ		
	期 日	未定	会 場	相模原銀河アリーナ

登録者数	アイスホッケー		インラインホッケー		合計
	役員数	選手数	役員数	選手数	
2000年度	105	1,670	0	156	1,931
2001年度	143	1,662	0	136	1,941
2002年度	165	1,760	2	132	2,059
2003年度	164	1,765	7	156	2,092
2004年度	170	1,841	6	156	2,173
2005年度	198	1,788	1	114	2,101
2006年度	223	1,797	3	35	2,058
2007年度	302	1,747	0	17	2,066
2008年度	262	1,865	1	42	2,170
2009年度	260	1,743	1	14	2,018
2010年度	260	1,683	6	27	1,976
2011年度	241	1,564	6	30	1,841
2012年度	197	1,674	10	42	1,923
2013年度	199	1,489	10	60	1,758
2014年度	210	1,319	13	75	1,617
2015年度	187	1,234	16	82	1,519
2016年度	205	1,290	18	79	1,592
2017年度	177	1,215	14	76	1,482
2018年度	196	1,207	15	77	1,495
2019年度	199	1,310	18	86	1,613
2020年度	182	1,102	0	0	1,284
2021年度	180	1,126	0	0	1,306
2022年度	185	1,209	13	73	1,480
2020～2021 増減	5	83	13	73	174

カテゴリー	種別	年度	チーム	役員数	選手数
インライン ホッケー	一般	2014	2	4	31
		2015	2	7	38
		2016	2	7	32
		2017	2	5	33
		2018	2	3	39
		2019	2	9	43
		2020	0	0	0
		2021	0	0	0
		2022	2	5	30
		女子	2014	2	8
	2015		3	9	44
	2016		3	11	47
	2017		3	9	43
	2018		3	12	38
	2019		3	9	43
	2020		0	0	0
	2021		0	0	0
	2022		3	8	43

カテゴリー	種別	年度	チーム数	役員数	選手数	
アイス ホッケー	一般	2014	41	113	924	
		2015	42	100	858	
		2016	40	121	884	
		2017	40	99	803	
		2018	39	94	781	
		2019	42	106	871	
		2020	38	89	743	
		2021	40	100	785	
		2022	40	96	781	
		大学	2014	3	29	62
			2015	4	35	71
			2016	4	32	79
			2017	4	25	80
			2018	4	39	79
			2019	4	35	92
			2020	4	42	66
			2021	3	27	38
			2022	3	37	49
			高校	2014	3	16
		2015		3	11	53
		2016		3	17	51
		2017		3	9	48
	2018	3		7	42	
	2019	3		11	44	
	2020	3		6	43	
	2021	3		6	41	
	2022	3		6	39	
	中学	2014		6	17	55
		2015	5	18	54	
		2016	5	8	51	
		2017	5	8	55	
		2018	5	12	57	
		2019	5	4	65	
		2020	5	6	58	
		2021	5	8	65	
		2022	6	13	64	
		小学	2014	5	22	124
	2015		5	13	108	
	2016		5	18	128	
	2017		5	26	141	
	2018		5	28	147	
	2019		5	30	136	
2020	5		21	123		
2021	5		23	139		
2022	6		18	169		
女子	一般		2014	4	13	62
		2015	3	10	47	
		2016	3	9	54	
		2017	3	10	45	
		2018	4	16	58	
		2019	4	13	60	
		2020	4	18	69	
		2021	3	16	58	
		2022	4	15	71	
		オールド	2014	1	0	23
			2015	1	0	43
			2016	1	0	43
2017	1		0	43		
2018	1		0	43		
2019	1		0	42		
2020	0	0	0			
2021	0	0	0			
2022	1	0	36			

2022年-2023年 レフェリー派遣一覧表

		内 容			
1	事業名 期日・会場 内容等	日本アイスホッケー連盟主催 全国委員長会議 2021年9月20日 参加者名 佐々木 暁			
2	その他派遣 事業	期 日	大会名	開催場所	派遣人数
		2022/9/11・16	県連レフェリー委員会 氷上クリニック	神奈川県横浜市	
		2022/10/15	県レフェリー4人制講習会 講師 小泉公一 氏 日ア連レフェリー副委員長	神奈川県横浜市	
		2022/10/29・30	第24回六地域対抗 アイスホッケー大会	茨城県笠間市	本田翔馬 鎌田司
		2022/10/29・30	伊香保カップ高校生	群馬県伊香保	佐々木暁
		2022/11/19・20	第17回日光杯全日本女子中学・ 高校生アイスホッケー大会	栃木県日光市	佐藤仁衣奈・本田翔馬 吉田見登留(RSV)
		2022/11/26・27	全国中学校アイスホッケー大会 関東ブロック予選会	栃木県日光市	佐々木暁 木村貴則
		2022/12/9～11	関東高等学校 アイスホッケー選手権大会	栃木県日光市	畑中和幸
		2022/12/15～18	全日本選手権Aグループ	長野県長野市	佐々木基喜
		2022/12/20～25	第95回日本学生 氷上競技選手権	神奈川県横浜市	佐々木基喜 /他
		2023/1/8～10	関東少年アイスホッケー大会	栃木県日光市	木村貴則 吉田見登留
		2023/1/21～24	第72回全国高等学校 アイスホッケー競技選手権	北海道釧路市	佐々木基喜
		2023/1/27～30	第43回全国中学校体育大会	栃木県日光市	派遣なし
		2023/1/28～29	第18回風越カップ全日本少年 アイスホッケー大会 関東ブロック予選会	山梨県甲府市	木村貴則
		2023/2/4	第11回全日本小学生低学年 選抜アイスホッケー大会 関東ブロック予選会	群馬県前橋市	畑中和幸
		2023/2/1～5	特別国民体育大会冬季大会	青森県 八戸市・南部町	佐々木基喜 吉田見登留
		2023/3/2～5	第57回全日本 アイスホッケー選手権(B)	岩手県盛岡市	派遣なし
		2023/3/16～19	第42回全日本女子 アイスホッケー選手権	北海道 帯広市・札幌市	佐藤仁衣奈
		2023/3/18・19	第11回全日本小学生 低学年選抜アイスホッケー大会	神奈川県横浜市	神奈川県及び関東 ブロック公認レフェリー
		2023/3/25～29	第17回全日本少年 アイスホッケー大会(中学生)	北海道釧路市	派遣なし
2023/3/26～29	第18回風越カップ全日本少年 アイスホッケー大会(小学生)	長野県北佐久郡 軽井沢町	吉田見登留		
3	アジアリーグ	2022/9～2023/1	アジアリーグ	神奈川県横浜市ほか	本田翔馬 佐々木基喜

神奈川県アイスホッケー連盟規約

第1章 総則

(名称)

第1条 この団体は、1976年(昭和51年)4月24日に神奈川県アイスホッケー連盟
(KANAGAWA-KEN ICE HOCKEY FEDELATION 略号 K.I.H.F)として設立する。

(事務所)

第2条 この団体は、事務所を横浜市神奈川区広台太田町1-1番地に置く。

第2章 目的および事業

(目的)

- 第3条
1. この団体は、神奈川県におけるアイスホッケーおよびインラインホッケー団体を総括し、かつこれを代表する唯一のアマチュア団体であってアイスホッケーおよびインラインホッケーの普及および振興を図り広く県民の健全な発達に寄与することを目的とする。
 2. この規約の以下の条文にある「アイスホッケー」は「インラインホッケー」を含むものとする。

(事業)

- 第4条 この団体は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 神奈川県におけるアイスホッケーの普及および、指導者の養成
 2. 神奈川県におけるアイスホッケーのアマチュア精神の確立
 3. アイスホッケーに関する調査・研究
 4. アイスホッケーに関する神奈川県選手権大会の開催およびその他の競技会の開催
 5. アイスホッケーに関する国内競技会および日本アイスホッケー連盟等に対する代表参加者の選定および派遣
 6. アイスホッケーに関する選手の競技力の向上
 7. 日本アイスホッケー連盟に対し、神奈川県のアマチュアアイスホッケー界を代表して加盟すること
 8. 財団法人神奈川県体育協会に対し、アマチュアアイスホッケー界を代表して加盟すること
 9. その他、この団体の目的を達成するために必要な事業

第3章 役員

(役員)

第5条 本団体には、次の役員を置く。

- | | | | | |
|----|-----|--|------|---------------|
| 1. | 会長 | 1名 | 副会長 | 若干名 |
| 2. | 理事長 | 1名 | 副理事長 | 若干名 |
| 3. | 理事 | 総数を20名以内とし(うち会計理事2名含む)、会長指名理事8名以上、ブロック選出理事10名とする。
ブロック別選出理事は下記のとおりとする | | |
| | | 1・7種 | 7名 | (一般・女子) |
| | | 2種 | 1名 | (大学) |
| | | 3種 | 1名 | (高等学校、高校生チーム) |
| | | 4、5、6種 | 1名 | (小・中学生) |
| | | 計 | 10名 | |
| 4. | 監事 | 2名 | | |

(役員を選任)

- 第6条
1. 会長及び副会長は理事会で推挙されたものを代議員会の承認により決定する。
 2. 理事および監事は代議員会で選任し、理事長および副理事長は理事の互選により定める。
 3. 理事は代議員を兼ねることはできない。

(役員職務)

- 第7条
1. 会長はこの団体の業務を総理し、この団体を代表する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。
 3. 理事長は会長を補佐し、理事会の議決に基づき団体の業務を掌握する。
 4. 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を代理する。
 5. 理事は理事会を組織し、この団体の業務を議決して執行する。
 6. 会長および副会長は、必要に応じて理事会に出席することができる。

(役員任期)

- 第8条
1. この団体の役員任期は2年とし、再任を妨げない。
 2. 補欠または増員により選任された役員任期は、前任者または現任者の残任期間とする。
 3. 役員は、その任期終了後も後任者が就任するまではなおその職務を行う。

(役員解任)

- 第9条 役員は次の各号に該当するときは、理事現在数及び代議員現在数の各々の3分の2以上の議決により役員を解任することができる。
1. 心身の故障のため、職務の執行に堪えないと認められるとき。
 2. 職務の義務違反、その他役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき。

第4章 代議員

(代議員の選出)

第10条 この連盟の代議員の選出は下記のとおりとする。

- ・ 連盟加盟チームは各チーム1名の代議員を選出するものとする。
- ・ 4種登録チームで運営母体が同一である小学生チーム及び中学生チームは、併せて1名の代議員とする。
- ・ インライン登録チームは代議員を選出しない。

第5章 会計

(会計)

第11条 この団体の会計年度は4月1日に始まり、3月31日に終わる。

第6章 会議

(代議員会)

第12条 代議員会はこの団体の最高議決機関として開催し、重要事項を討議する。

1. 事業計画及び収支予算についての承認
2. 事業報告及び収支決算についての承認
3. 基本財産についての事項
4. 本条第1号、第3号に定めるものを除くほか、新たな義務の負担及び権利の放棄についての事項
5. 規約の改定
6. 役員の選定
7. 加盟・脱退・賞罰に関する事項
8. この団体の解散に関する事項
9. その他、この団体に関する重要事項で理事会において必要と認める事項

(理事会)

第13条 理事会は、この団体の事業の運営に関し審議決定し、次の事項を付議する。

1. この団体の事業の企画及びその遂行に関する事項
2. アイスホッケーに関する国内競技および日本アイスホッケー連盟等に対する代表参加者の選考及び推薦
3. 名誉会長・顧問・参与の推薦
4. 専門委員会設置に関する事項
5. その他、この団体の運営に関する事項

(会議の招集)

- 第 14 条 1. 代議員会は会長が招集し少なくとも 7 日前に日時、場所その会議の目的たる事項を代議員あて通告する。
2. 理事会は、会長の承認を経て理事長が招集する。
3. 会長が認めた場合または、構成員の 3 分の 1 以上から会議に付議すべき事項を示して招集を請求された時は、その要求のあった 21 日以内に臨時代議員会または臨時理事会を開催しなければならない。
4. 代議員会の議長は会長とし、理事会の議長は理事長とする。

(定足数)

- 第 15 条 1. 代議員及び理事会の定足数は構成員の過半数とする。ただし当該事項につき書面をもってあらかじめ意思を表示した欠席者は定足数の上で出席者とみなす。
2. 代議員会及び理事会の議事はこの規約に別段の定める場合を除くほか、議決権を有する出席者の過半数を持って決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(議事録)

- 第 16 条 すべての会議には議事録を作成し、議長および出席者の代表 2 名以上の署名押印の上これを保存する。

第 7 章 専門委員会

(専門委員会)

- 第 17 条 1. この団体の任務遂行のために必要あるときは、理事会の議決に基づき専門委員会をおくことができる。
2. 前項の規定による専門委員会の運営に関する規則は、理事会の議決を経て別に定める。

第 8 章 加入団体

(加入)

- 第 18 条 1. 次に掲げる団体で、この団体の趣旨に賛同するものは、理事会及び代議員会における承認を経て加入団体となることができる。
- ① 神奈川県に所在地を有するアイスホッケーに関する団体
 - ② 神奈川県に所在地を有する大学の OB で全国的に組織されたアイスホッケーに関する団体
2. 新規に加入しようとする団体は所定の額の加入金を納めるものとする。またその名称は既加入チームの名称と混同されないようにしなければならない。
3. 新規に加入しようとする団体は、既加入団体から本連盟規約に照らしてふさわしいチームである旨の推薦を受けなければならない。
4. チーム事情により活動を停止せざるを得なくなった団体は、休部の申請をすることができる。
5. 加入団体はスポーツ安全保険もしくは同等の補償の保険に加入しなければならない。

(資格喪失)

第 19 条 加入団体は、次の事由によってその資格を喪失する。

1. 脱退
2. 加入団体の解散
3. 除名

(脱退)

第 20 条 加入団体が脱退しようとするときは、その理由を付して脱退届を提出し代議員会の承認を経なければならない。

(除名)

第 21 条 加入団体が次の各号に該当するときは、代議員会の議決を経て会長がこれを除名することができる。

1. この団体の加入団体としての義務に違反したとき
2. この団体の名誉を傷つけ、又はこの団体の目的に違反する行為があったとき
3. 負担金を 2 年以上滞納したとき

(負担金)

第 22 条 加入団体は毎年別に定める負担金を当該年度の 6 月末日までに納入するものとする。

第 9 章 規約の変更ならびに解散

(規約の変更)

第 23 条 この規約は代議員会出席人員の 3 分の 2 以上の議決を経なければ変更できない。

(解散)

第 24 条 この団体の解散は、理事現在数及び代議員現在数各々の 4 分の 3 以上の議決を経なければならない。

(残余財産の処分)

第 25 条 この団体の解散に伴う残余財産は、理事現在数及び代議員現在数各々の 4 分の 3 以上の決議を必要とし、この団体の目的に類似の目的を有する公益法人に寄付するものとする。

神奈川県アイスホッケー連盟規約

施行細則

1999.2.27

第3章 第6条

(役員を選任)

理事及び監事の選任方法

[ブロック選出理事]

- ① 理事長は代議員会に先立って、ブロック別会議を招集する。
- ② 理事への立候補者は連盟登録者に限る。
- ③ 立候補者は改選期のブロック別会議の10日前までに事務局にその旨を届け出なければならない。
- ④ 事務局は届け出のあった立候補者名を、ブロック会議までに当該ブロック所属の各チームへ通達するものとする。
- ⑤ ブロック別会議では理事候補を選出し、代議員会で承認される。
- ⑥ ブロック別会議での選出方法は所属各チーム代議員の合意による。

[会長指名理事]

- ・ 本連盟運営の円滑化を目的として、会長は連盟登録者または有識者などから8名以上10名以内で理事候補を指名する。
- ・ 会長の指名する理事候補は代議員会で承認される。

[監事]

- ・ 理事会の推薦を受け、代議員会で承認される。
- ・ 監事に推薦されるものは連盟登録者に限る。
- ・ 改選期にあたっては、改選前の理事会において監事を推薦する。

第4章 第10条

(代議員の選出と職務)

- ・ 1、2、3、4、7種の団体は各チーム1名の代議員を選出する
- ・ 代議員は各チームの代表者として代議員会に出席し、連盟の運営に関与することができる。
- ・ 代議員は自らが代議員会に出席できない時、同チームの代理出席者を参加させ、その議決権を委任することができる。

第4章 第11条

(会計監査)

- ・ 監事は連盟の会計執行状況について監査を行い、代議員会でその結果を報告する。
- ・ 監事は会計執行状況を把握するために、理事会に対して必要に応じて関係書類の提出を求めることができる。

第7章 第17条

(専門委員会)

- ・ 連盟の運営にあたり、以下のように専門委員会を設置する。

◇総務委員会

- ・総務委員会
- ・会計委員会
- ・広報委員会
- ・審議委員会
- ・医事委員会

◇競技委員会

- ・県主催事業委員会
- ・大会運営幹事会

◇普及委員会

- ・小学生
- ・中学生
- ・女子
- ・インライン
- ・オールドタイマー

◇強化委員会

- ・小中学生
- ・高校
- ・大学
- ・女子
- ・一般
- ・選手選考委員会

◇レフェリー委員会

◇日ア連事業本部

- ・委員会の委員は、連盟登録者または有識者から担当理事の推薦を受け、理事会で委任する。

第8章 第18条 (加入)

[加入団体の種別]

- ・ 1種 一般団体
- ・ 2種 単独の大学を代表する団体
- ・ 3種 単独の高校を代表する団体及び高校生で編成される団体
- ・ 4種 アイスホッケー・スポーツ少年団またはこれに準ずる団体
- ・ 5種 単独の中学校を代表する団体
- ・ 6種 単独の小学校を代表する団体
- ・ 7種 女子選手で編成される団体

[加入金]

- ・ 新規に加入しようとする団体は加入金として20万円を納入するものとする。

[レフェリー]

- ・ 1種・7種加入団体はレフェリーを登録し、レフェリー委員会の指導の元活動するものとする。

[休部]

- ・ 休部しようとする団体は、連盟にその旨を届け出て、理事会で承認されれば3年間を限度として休部扱いとすることができる。その間に活動を再開した場合は新規加入金の必要はない。
- ・ 休部中は連絡先として最低1名の登記会員を登録するものとする。

[活動の再開]

休部後に活動を再開しようとする団体は連盟にその旨を届け出て、正規の連盟登録または追加登録を経て、活動を再開することができる。

神奈川県アイスホッケー連盟 2022-2023 役員体制
2022組織図 (2022/8/10 第2回理事会)

会 長	藤木 幸太			
顧 問	小西 仁、長谷川 清、福田 典夫			
理 事 長	金子 精司			
副理事長	伊藤 一、柏木 満、中島 透(理事長代行)、宮本 淳平			
理 事	石山 卓男、内田 貴典、江守 永、鍵和田 和明、菊地 拓海、佐々木 暁、天明 太郎、西村 三雄、長谷川 宜彦、畑中 和幸、松田 圭介、三浦 浩幸、水原 健司、吉田 見登留、渡邊 百合子			
監 査	飯田 松男、石塚 亮平			
総務本部		委員長	副委員長	委員
本部長 伊藤 一	総務委員会	伊藤 一	宮本 淳平	猪俣 信行 鍵和田 和明
	会計委員会	長谷川 宜彦	水原 健司	宮本 淳平
	審議委員会	柏木 満	伊藤 一	吉田 見登留
	懲戒委員会	中島 透	佐々木 暁	伊藤 一
	広報委員会	長谷川 宜彦	石山 卓男	内田 貴典
医事委員会	江守 永	三辺 武幸	飯田 松男 東山 祐介 芳賀 秀郷	
競技・強化本部		委員長	副委員長	委員
本部長 長谷川 宜彦	競技委員会	内田 貴典	伊藤 一	飯田 松男 石山 卓男 三浦 浩幸
	強化委員会(成年)	長谷川 宜彦	水原 健司	天明 太郎 松田 圭介 岩本 裕司 梁取 慎也 山田 瑛史
	強化委員会(大学)	石山 卓男	松田 圭介	中島 弘康
	強化委員会(高校)	菊地 拓海	松田 圭介	水原 健司 山田 瑛史
	強化委員会(小・中)	水原 健司		林 毅 新村 翔太 鈴木 孝昌 高橋 浩三 枕辺 勝美 垂井 紗季 浦島 亘 込山 優
	強化委員会(女子)	水原 健司	渡邊 百合子	長谷川 愛 坪山 睦 香川 貴博
レフェリー委員会		委員長	副委員長	委員
	レフェリー委員会	佐々木 暁	畑中 和幸	佐藤 仁衣奈 山本 秀彦 吉田 見登留
普及本部		委員長	副委員長	委員
本部長 宮本 淳平	普及委員会(小・中・女子)	宮本 淳平	天明 太郎	佐藤 茂之 堀越 彰子
	オールドタイマー委員会	鍵和田 和明	西村 三雄	長谷川 清
	インライン委員会			
日ア連事業本部		委員長	副委員長	委員
本部長 金子 精司	日ア連事業委員会	長谷川 宜彦	石山 卓男	伊藤 一 柏木 満 三浦 浩幸 吉田 見登留
	日ア連評議委員	宮本 淳平		
	日ア連連絡責任者	伊藤 一・鍵和田 和明 (登録業務) 長谷川 宜彦・三浦 浩幸(登録業務を除く)		

2022-2023 第 43回全国中学校アイスネッカー大会
神奈川県選抜メンバー

	Pos	背番号	名前	フリガナ	学年	学校名	所属チーム
1	GK	44	山林 慈英	ヤマバヤシ ジェイ	中学 3	慶応義塾普通部	高田馬場アトムズ
2	GK	70	松浦 弾	マツウラ ダン	中学 3	茅ヶ崎市立鶴が台中学校	新横浜ジュニア
3	DF	5	平田 陽馬	ヒラタ ハルマ	中学 3	横浜市立東鴨居中学校	YOKOHAMA STARS
4	DF	18	高橋 璃登	タカハシ リト	中学 2	横浜市立川和中学校	YOKOHAMA STARS
5	DF	14	安村 昂暁	ヤスムラ タオ	中学 2	横浜市立東山田中学校	アイリンズ
6	DF	19	金子 瑛徠	カネコ アキラ	中学 2	横浜市立茅ヶ崎中学校	新横浜ジュニア
7	DF	13	山賀 月	ヤマガ ルナ	中学 1	横浜市立城郷中学校	新横浜ジュニア
8	FW	7	赤澤 正龍	アカザワ マサタツ	中学 3	慶応義塾普通部	高田馬場アトムズ
9	FW	12	塚本 翔太	ツカモト ショウタ	中学 3	慶應義塾湘南藤沢中等部	明治神宮外苑
10	FW	10	長谷川 純平	ハセガワ ジュンペイ	中学 2	桐蔭学園中等教育学校	YOKOHAMA STARS
11	FW	16	小泉 慧仁	コイズミ アキト	中学 2	横浜市立六角橋中学校	アイリンズ
12	FW	21	長野 礼緒	ナガノ レオ	中学 2	横須賀学院中学校	新横浜ジュニア
13	FW	20	倉田 隼佑	クラタ シュンスケ	中学 2	慶應義塾湘南藤沢中等部	高田馬場アトムズ
14	FW	11	杉山 夏輔	スギヤマ ナツホ	中学 2	逗子開成中学校・高等学校	明治神宮外苑
15	FW	8	野口 遊翔	ノグチ ユウト	中学 2	横浜市立東鴨居中学校	新横浜ジュニア
16	FW	17	宮脇 正義	ミヤワキ マサヨシ	中学 2	藤沢市立大清水中学校	新横浜ジュニア

第17回 全日本少年アイスホッケー大会(中学生の部)

神奈川県代表メンバー

監督	長谷川 宜彦	はせがわ のりひこ	神奈川県アイスホッケー連盟
コーチ	水原 健司	みずはら けんじ	神奈川県アイスホッケー連盟
コーチ	林 毅	はやし つよし	神奈川県アイスホッケー連盟
コーチ	新村 翔太	にいむら しょうた	神奈川県アイスホッケー連盟

No.	C/A	POS	NO.	名前	よみがな	学年	チーム
1		GK	44	松浦 弾	まつうら だん	3	新横浜ジュニア
2		GK	70	ジャルディーナ ジョセフ	じやるでいーな じよせふ	2	アイリズ
3	A	DF	5	平田 陽馬	ひらた はるま	3	ヨコハマスターズ
4		DF	10	大林 晴	おおばやし はる	3	新横浜ジュニア
5		DF	18	高橋 璃登	たかはし りと	2	ヨコハマスターズ
6		DF	14	安村 昂暁	やすむら たお	2	アイリズ
7		DF	22	バンマーネン 裕章	ばんまーねん ひろあき	2	アイリズ
8		DF	19	金子 瑛徠	かねこ あきら	2	新横浜ジュニア
9		DF	13	山賀 月	やまが るな	1	新横浜ジュニア
10	A	FW	25	伊藤 佑希	いとう ゆうき	3	アイリズ
11	C	FW	9	渋谷 龍之介	しぶや りゅうのすけ	3	新横浜ジュニア
12		FW	7	李 瑛	り あきら	3	新横浜ジュニア
13		FW	8	平田 蓮樹	ひらた はずき	3	新横浜ジュニア
14		FW	1	長谷川 純平	はせがわ じゅんぺい	2	ヨコハマスターズ
15		FW	16	小泉 慧仁	こいずみ あきと	2	アイリズ
16		FW	21	長野 礼緒	ながの れお	2	新横浜ジュニア
17		FW	4	野口 遊翔	のぐち ゆうと	2	新横浜ジュニア
18		FW	17	宮脇 正義	みやわき まさよし	2	新横浜ジュニア

特別国民体育大会関東ブロック予選 神奈川県(少年)代表選手

背番号	氏名	ポジション	所属	学年	C/A	備考
	小澤 了輔	GK	武相高校	1年		
	秋田 快成	GK	慶應高校	2年		
	林 太一	DF	武相高校	2年		
	中尾 草太	DF	武相高校	1年		
	久恒 弘大	DF	慶應高校	2年		
	土井 清太郎	DF	慶應高校	1年		
	仁王 利樹	DF	慶應高校	1年		
	後藤 琳太郎	FW	武相高校	3年	C	
	平田 吹樹	FW	武相高校	3年	A	
	高橋 来暉	FW	武相高校	2年		
	西 陸斗	FW	武相高校	2年		
	山田 展平	FW	武相高校	1年		
	栖原 大河	FW	慶應高校	3年		
	三田 輝明	FW	慶應高校	3年	A	
	小島 壯太	FW	慶應高校	1年		
	石村 虎太郎	FW	西武ホワイトベアーズ	1年		慶應湘南藤沢高校
補欠	齊藤 大也	GK	武相高校	2年		
補欠	田中 亮至	DF	武相高校	1年		
補欠	茨城 康瑛	DF	慶應高校	1年		
補欠	山口 碧天	FW	武相高校	2年		
補欠	須藤 総太郎	FW	慶應高校	3年		
監督	菊地 拓海	神奈川県アイスホッケー連盟高校強化委員長(武相高校)				
コーチ	長谷川 宜彦	神奈川県アイスホッケー連盟強化本部長				
コーチ	山田 瑛史	専修大学アイスホッケー部ヘッドコーチ				

特別国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技
 関東ブロック予選会
 神奈川県選抜メンバー

監督	長谷川 宜彦	神奈川県アイスホッケー連盟
コーチ	岩本 裕司	日本アイスホッケー連盟
コーチ	水原 健司	神奈川県アイスホッケー連盟
コーチ	梁取 慎也	神奈川県アイスホッケー連盟
コーチ	山田 瑛史	神奈川県アイスホッケー連盟

No.	No.	Pos	C/A	氏名	ふりがな	所属チーム
1	24	GK		大野 智央	おおの あきひさ	東海大学
2	3	GK		多田 圭之介	ただ けいのすけ	慶応義塾大学
3	1	GK		伊藤 周大爾	いとう すおみ	日本体育大学
4	6	DF	A	松浦 大貴	まつうら ひろき	ケッターズ
5	12	DF		叶多 洸大	かのうだ こうだい	箱根クラブ
6	2	DF		水戸部 凌也	みとべ りょうや	チームハセガワB
7	8	DF		其田 拓也	そのだ たくや	日本体育大学
8	5	DF		小林 大介	こばやし だいすけ	専修大学
9	21	DF		高橋 葵	たかはし あおい	青山学院大学
10	9	DF		佐々中 学人	ささなか まなと	東洋大学
11	4	DF		小島 快	こじま かい	慶応義塾大学
12	25	FW		金村 恵典	かねむら けいすけ	伊藤忠商事
13	11	FW	C	滝 智弥	たき ともや	伊藤忠商事
14	10	FW		近藤 謙成	こんどう けんせい	ケッターズ
15	14	FW		佐野 靖也	さの せいや	NTT
16	7	FW		林 風汰	はやし ふうた	早稲田大学
17	17	FW	A	伊藤 優人	いとう ゆうと	日本体育大学
18	15	FW		田原 輝志	たはら てるし	慶応義塾大学
19	22	FW		植森 大貴	うえもり ひろき	日本体育大学
20	20	FW		高木 滉典	たかぎ あきのり	日本体育大学
21	13	FW		林 幹汰	はやし かんた	早稲田大学
22	19	FW		荘 敬大	しょう たかひろ	慶応義塾大学
23	16	FW		北川 海斗	きたがわ かいと	法政大学
24	23	FW		泉浦 快渡	いずみうら かいと	日本体育大学
25	18	FW		角丸 陸斗	かくまる りくと	中央大学

特別国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会
神奈川県代表メンバー

監督	長谷川 宜彦	神奈川県アイスホッケー連盟
コーチ	水原 健司	神奈川県アイスホッケー連盟
コーチ	山田 瑛史	神奈川県アイスホッケー連盟
トレーナー	藤田 啓志	横浜グリッツ

No.	POS	No.	C/A	氏 名	よみがな	所属チーム
1	GK	1		大野 智央	おおの あきひさ	東海大学
2	DF	6	A	松浦 大貴	まつうら ひろき	ケッターズ
3	DF	2		水戸部 凌也	みとべ りょうや	チームハセガワB
4	DF	5		小林 大介	こばやし だいすけ	専修大学
5	DF	21		高橋 葵	たかはし あおい	青山学院大学
6	DF	15		佐々中 学人	ささなか まなと	東洋大学
7	DF	4		小島 快	こじま かい	慶応義塾大学
8	FW	11	C	滝 智弥	たき ともや	伊藤忠商事
9	FW	10		近藤 謙成	こんどう けんせい	ケッターズ
10	FW	14		佐野 靖也	さの せいや	NTT
11	FW	7		林 風汰	はやし ふうた	早稲田大学
12	FW	17	A	伊藤 優人	いとう ゆうと	日本体育大学
13	FW	22		植森 大貴	うえもり ひろき	日本体育大学
14	FW	13		林 幹汰	はやし かんた	早稲田大学
15	FW	16		北川 海斗	きたがわ かいと	法政大学
16	FW	18		角丸 陸斗	かくまる りくと	中央大学

懲戒委員会事項

2023年3月31日 現在

大会名	氏名	チーム	年月日	ペナルティ		処分	対象試合	処分解除年月日
第32回 春季小中女子 神奈川選手権	大林 晴	新横浜ジュニア (中学)	2022/ 4/24	GM	#202-9 DANG、#39-5(i))ABUSEによる自動的なゲーム・ミスコンダクトペナルティ	2試合 出場停止	第18回 江戸川区長 杯ジュニアア イスホッケー 大会	2022/ 5/28
第78回国体 神奈川県予選 会	Versical Joseph	横浜JETS	2022/ 12/13	5+ GM	#41条3ボーディングによるメジャー・ペナルティ、及び #41条5ボーディングによるによるゲーム・ミスコンダクトペナルティ	追加処分 無し	-	-
第95回日本学 生氷上競技選 手権大会アイス ホッケー競技 1stディビジョン	寺嶋 颯人	日本体育大学	2022/ 12/21	GM	#75条5(ii)アンスポーツ マンライク・コンダクトによる ゲーム・ミスコンダクト・ ペナルティ	10試合 出場停止	12/22同大会 による1試合 残り9試合	
第95回日本学 生氷上競技選 手権大会アイス ホッケー競技 1stディビジョン	中島 照人	東洋大学	2022/ 12/22	5+ GM	#42条3チャージングによる メジャー・ペナルティ及び #42条5チャージングによる ゲーム・ミスコンダクト・ペ ナルティ	追加処分 無し	-	-
第70回 神奈川選手権	加納 圭吾	YOKOHAMA BAY JAZZ	2023/ 2/3	5+ GM	#41条3ボーディングによる メジャー・ペナルティ、及び #41条5ボーディングによる によるゲーム・ミスコン ダクトペナルティ	1試合 出場停止	2/22 神奈川選手 権#4-22	
第70回 神奈川選手権	梅原 翼	アイス バンディッツ	2023/ 2/5	MP	#49条3 キッキングによ るマッチ・ペナルティ	5試合 出場停止	3/14 神奈川選手 権#2-25及び その後の県 内公式戦	
第70回 神奈川選手権	藤田 輝	EAGLES	2023/ 3/8	2+ GM	#51.2 ラフティング+ #23.1 ゲーム・ミスコン ダクト・ペナルティ	追加処分 無し	-	-
第70回 神奈川選手権	赤堀 聡彦	横浜JETS	2023/ 3/13	5+ GM	#43.5 チェッキングフロ ムビハインドによるメ ジャー・ペナルティ及び自 動的ゲーム・ミスコンダク ト・ペナルティ	3試合 出場停止	県内公式戦	

審議委員会事項

2023年3月31日 現在

大会名	チーム名	内容	処分
第78回国体 神奈川県予選 会	イワトビ ペンギンズ 及び 同チーム所属 北野 郷史	2022/11/27に行われた第78 回国体県予選会#B19の試合 において北野選手は、明らか に故意且つ頸部に向けた Butt-Endingを行い、試合の状 況・プレーに関係ない悪意を 持った傷害行為であると判断 し、この重大な危険行為に対 し厳しい処分を行うことを決定 した。	イワトビペンギンズを嚴重注意処分とする。 イワトビペンギンズ 北野 郷史 選手を2022年12月4日以降の 試合出場停止及び2023年4月1日から2028年3月31日までの5 年間試合出場停止処分とする。 処分終了までの間であっても日ア連登録を行い、登録費を納入 すること。退部申請は認めない。